学校番号	３１２

令和３年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第１学年	・桐原書店「PRO-VISION English Communication Ⅰ」 ・桐原書店「PRO-VISION English Communication Ⅰ Workbook」 ・駿台文書「システム英単語 For Starters/2000」 ・第一学習社「Active Listening 1」

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰは「話すこと」「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いてる人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）

及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、考えなどについて、意見の交換をしたりすることができる。 ・事実に基づいて自分の意見を述べることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ･英語表現Ⅰ インタビューテスト スピーチ	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、考えなどについて、意見を簡潔に書くことができる。 ・すでに学習した文法や表現を正しく用いて文章を書くことができる。	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ 定期考査 レポート	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて、必要な情報などをとらえることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる。	コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ リスニングテスト	・説明や物語などを読んで､情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・説明や物語などを読んで､情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる。	コミュニケーション英語Ⅰ･英語表現Ⅰ 音読テスト 定期考査 レポート

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を明確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に判断できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

Lesson１ (10 時間)	iPS 細胞を作成した山中伸弥博士の半生と、夢を追い求めるための座右の銘を伝える。興味・関心と適性を生かし、自らの進むべき道開拓し努力する人物をする内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。	（本単元では設定しない。）	
		「外国語理解の能力」			
		・山中伸弥博士の半生と自ら進むべき道を開拓し努力する姿について読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、山中伸弥博士の半生と夢を追い求める姿について読み、イメージとともに内容を理解する	・山中伸弥博士の半生と自ら進むべき道を開拓し努力する姿について読んだことを理解することができる。	・定期的テストの筆記テストにおいて、内容を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・単純形と進行形を理解する ・未来表現を理解する。 ・動詞（＋A）＋wh 節/whether 節を理する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・単純形と進行形を理解する ・未来表現を理解する ・動詞（＋A）＋wh 節/ whether 節を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson２ (10 時間)	世界に広がった日本のお弁当文化を紹介する。日本の伝統文化のもつ可能性を考え、他国の文化に対する考え方や感じ方を深める。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。 ・海外の観光客に自分のお勧めの日本食を言えるように簡単なスピーチをする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。 ・ペアで自分のお勧めの日本食について伝え合う。	・読んだ内容に基づき、自分の好きな日本食について話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・スピーチ原稿を提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・世界に広がった日本のお弁当文化について理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、世界に広がった日本のお弁当文化について読み、イメージとともに内容を理解する。	・世界に広がった日本のお弁当文化について、読んだことを理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形を理解する ・過去完了形を理解する ・現在完了進行形を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了形を理解する ・過去完了形を理解する ・現在完了進行形を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

４　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson３ (10 時間)	女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィッツアー氏の経験を通じ、男女平等を重んじ、より良い社会の実現のために主体的に社会にかかわることの重要性を伝える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィッツアー氏の経験について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィッツアー氏の経験について読み、イメージとともに内容を理解する。	・女性マラソンランナーの先駆者の一人であるキャサリン・スウィッツアー氏の経験について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞を理解する・疑問詞＋to do を理解する ・名詞＋主語＋動詞を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞を理解する ・疑問詞＋to do を理解する ・名詞＋主語＋動詞を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson４ (10 時間)	ビーバーが生態系において果たす重要な役割について学習し、環境保全について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。 ・動物についてのクイズを作る。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。 ・グループ内で動物についてのクイズについて伝え合う。	・読んだ内容に基づき、動物に関するクイズについて話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ビーバーが生態系おいて果たす重要な役割について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、ビーバーが生態系において果たす重要な役割について読み、イメージとともに内容を理解する。	・ビーバーが生態系において果たす重要な役割について、読んだことが理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受動態を理解する・さまざまな受動態を理解する ・関係代名詞 what を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・受動態を理解する ・さまざまな受動態を理解する ・関係代名詞 what を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson５ (10 時間)	チョコレートにまつわる文化や歴史を学習し、広範な知識と多様なものの見方を身につける。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・チョコレートにまつわる文化や歴史について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、チョコレートにまつわる文化や歴史について読み、イメージとともに内容を理解する。	・チョコレートにまつわる文化や歴史について読んだことが理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞（to do）を理解する ・形式目的語 it を理解する ・動詞＋A＋to do を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・不定詞（to do）を理解する ・形式目的語 it を理解する ・動詞＋A＋to do を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson６ (11 時間)	ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について紹介する。自主及び自律の精神を養うこと、また社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。 ・「音楽の持つ力」について自分が経験したことをワークシートに基づいて作成する。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。 ・ペアで「音楽の持つ力」について自分の経験をインタビューしあう。	・自分の経験について知っている語彙や文法を使って、適切に書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について読み、イメージとともに内容を理解する。	・ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について、読んだことが理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・使役の構文を理解する ・動名詞 doing を理解する ・さまざまな動名詞を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・使役の構文を理解する ・動名詞 doing を理解する ・さまざまな動名詞を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆頭テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (10 時間)	植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについての記述を通じ、自然の驚異を学習し、命の尊さ、環境の保全の重要性を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについて読み、イメージとともに内容を理解する。	・植物と動物の間及び植物同士の間で行われているコミュニケーションについて、読んだことが理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文を理解する ・分詞の形容詞的用法を理解する ・知覚動詞＋名詞＋do/doing を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文を理解する ・分詞の形容詞的用法を理解する ・知覚動詞＋名詞＋do/doing を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 8 (11 時間)	マララ・ユズフザイ氏の国連での演説を読む。より良い社会の実現のために、社会全体が負う課題と個人が果たすべき責任について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。 ・マララ・ユスフザイ氏の演説から自分が心に残ったフレーズを選び、それについて手紙を書く。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。 ・手紙の内容をグループ内で発表しあう。	・自分が思ったについて知っている語彙や文法を使って、適切に書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・マララ・ユズフザイ氏の国連での演説について、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、マララ・ユズフザイ氏の国連での演説について読み、イメージとともに内容を理解する。	・マララ・ユズフザイ氏の国連での演説について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞を理解する ・関係副詞を理解する ・比較の表現①を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞を理解する ・関係副詞を理解する ・比較の表現①を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson９ (10 時間)	雪の結晶が生成されるメカニズムを学習する。興味・関心を喚起し真理を求める態度を養う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。 ・クラスメイトとどこに旅行したいかワークシートを使って計画を書き、クラスの生徒にインタビューを行う。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。 ・旅行の計画の内容をインタビューする。	・自分が行きたい場所や理由について知っている語彙や文法を使って、適切に書くことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・雪の結晶が生成されるメカニズムについて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、雪の結晶が生成されるメカニズムについて読み、イメージとともに内容を理解する。	・雪の結晶が生成されるメカニズムについて、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の非制限用法を理解する ・It is ～ that[who] … ・比較の表現②を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の非制限用法を理解する ・It is ～ that[who] … ・比較の表現②を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson10 (10 時間)	科学的な測定を使って、５３００年前に亡くなった男のミイラから有史以前の人類の生活を探る。興味・関心を喚起し、真理を求める態度を養う。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら音読や会話を続ける。	・セクションごとに音読したり内容に対する感想や意見について話し、ペアで伝え合う。	・ペアワークについて、お互いに協力しながら、音読や会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・教科書の要約を使って、レッスンの要約が書けるようにする。	・教科書の要約を利用してセクションごとに概要を把握する。	(本単元では設定しない。)	
		「外国語理解の能力」			
		・科学的な測定を使って、５３００年前に亡くなった男のミイラから有史以前の人類の生活を探るについて、読んだことを理解する。	・セクションごとに、教科書の写真を使いながら、ミイラから有史以前の人類の生活について読みイメージとともに理解する。	・ミイラから有史以前の人類の生活について、読んだことを理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去を理解する ・仮定法過去完了を理解する ・同格の that を理解する	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去を理解する ・仮定法過去完了を理解する ・同格の that を理解する	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。